



第16回きりしまフォトコンテスト【環境賞】初めての経験

霧島市 市議会

58

令和2年5月

特集 Special edition

令和2年度予算 私はここに注目しています P2~3

令和2年度 予算審査 P4~9

委員会レポート P10

一般質問 P11~17

賛否が分かれた議案の表決結果
活動報告 P19

活躍きりしまびと P20

だより

活躍 きりしまびと

第5回

思いやりを育む環境づくりで
支えあえる地域づくりを

理学療法士
大西 芳輝さん
(霧島町大窪)



霧島町大窪に在住の大西芳輝さん(73)は、理学療法士として、約50年、病气やけがの後遺症に悩む人々を支えてきた。その功績を評価され、医療功労賞を授与された。今回の受賞は、全国で10人と評価の高さがうかがえる。コロナウイルスの影響で、天皇陛下への拜謁が中止になったことが残念と語る大西さん。現在は、いきいきサロンなどの活動を通じ、地域の健康生きがいづくりに力を注ぐ一方、若い理学療法士の相談にも乗りな

がら後進育成に思いをはせる。リハビリや、介護現場に長く携わってきただけで、介護現場に長く携う。それは、技術や知識はもちろんだが、患者に接する際の思いやり。介護は、する側、される側の信頼関係でよりよいものになる。これは、職に就いてから学ぶことではなく、幼いころから、学校や地域の中で、育まれていくべきもの。霧島市には、そういった環境づくりにも努めてもらいたい。そして、けがや病気になる前が一番大事。健康寿命の延伸は重要であり、市議会の皆さんも積極的に勉強してもらいたい。また、高齢者は、家庭事故による後遺症に悩まされている方が多く事故を防ぐためのバリアフリー工事にも問題は少なからずある。こういった点にも目を向けて活動してほしい。」
今は、地域で活動していることが楽しいと笑顔で語られる大西さん。これからも、元気で過ごしてください。

次回▶6月 [定例会予定]

日	月	火	水	木	金	土
6/7	8 本会議 (初日)	9	10	11	12	13
14	15	16 本会議(一般質問)	17	18	19	20
21	22 常任委員会	23 常任委員会	24 常任委員会	25 予算常任委員会	26 予算常任委員会	27
28	29	30	7/1	2	3 本会議 (最終日)	4

日程は変更になることがあります。
詳しくは議会事務局(☎64-0922)にお問い合わせください。

今月の表紙



福山町の佳例川地区お田植え祭の一場面です。田んぼに入って苗を植える経験をする子どもは少ないのではないのでしょうか。貴重な経験です。

編集後記

昨年12月から「新型コロナウイルス感染症」により、月日を追うごとに日本中に蔓延する恐怖がテレビや新聞で取りざたされます。「マスクの欠品から始まり、トイレトペーパーがなくなる」と言われ、その報道やうわさに翻弄され店頭から特定の商品がなくなる現象が起こりました。市民の方から「中国やその他の外国からの輸出が止まれば日本の経済は立ち行かなくなる」と指摘され、日本の食料自給率37%を思い出し「自国の食料や物品は自国で生産し消費することの大切さ」に気づかされました。各種イベントや行事などの「自粛要請」により、人が動かなくなると購買力の低下で物流が停滞し、中小零細業者へ大打撃となり「自己責任」で解決することは容易なことではありません。自粛と補償はセットで行うべきです。今回更に「議会だより」をリニューアルし、「わかりやすく、読みたくなるよう」編集委員一同、一層、努力したいと思えます。新年度も、よろしく願っています。
(前川原正人)



霧島市議会の詳しい情報は、「霧島市議会のホームページ」をご覧ください。

霧島市議会

検索